

じっちのごはん

石巻市立須江小学校2年 津田 純之助

ひとめぼれ。だてまさゆめ。これはじっちがぼくたちのために作ってくれるおいしいお米の名前です。

じっちがお米を作っていた田んぼは、ぼくがうまれる前に、つなみでながされて、めちゃくちゃになってしまったところにあります。でも、ずっとお米を作っていたじっちは、あきらめないでまたお米を作っています。たねまき、しろかき、田うえ、草かり、いねかり。お米をたべるまでにはたくさんのしごとがあるとじっちがおしえてくれました。じっちが田うえをしているところを一回だけ見に行ったことがあります。じっちとなかまの人たちがあせをかきながらいっしょけんめいきかいをうごかしたり、なえをはこんだりしていました。ぼくがおいしいごはんをたべるために、じっちたちがどろんこでがんばっているのをすることができました。

やわらかくて、もちもちで、あつあつのごはんがぼくは大すきです。白いごはんもすきだけど、なっとうごはん、ハンバーグとたべるごはん、いくらごはんもとっても大すきです。ぼくがたくさんごはんをたべると、となりで見ているじっちはすごくよろこんでくれます。おいしいごはんは大すきなじっち。ぼくが大きくなるようにじっちはお米を作ってくれます。ぼくはじっちによろこんでほしいから、これからもたくさんごはんを食べます。

ぼくがもう少し大きくなるまで、じっちにはまだまだお米を作っしてほしいです。そうしたら、ぼくはじっちといっしょにお米を作ります。じっちにはぼくが作ったお米で、じっちのすきなうめぼしとなっとうのごはんをたべさせてあげたいです。